

2025 年度

事 業 報 告 書

一般社団法人 日本産業機械工業会

目 次

I	部会関係	1
	1. ボイラ・原動機部会	1
	2. 鉱山機械部会	2
	3. 化学機械部会	3
	4. 環境装置部会	4
	5. タンク部会	8
	6. プラスチック機械部会	9
	7. 風水力機械部会	10
	8. 運搬機械部会	12
	9. 動力伝導装置部会	15
	10. 製鉄機械部会	16
	11. 業務用洗濯機部会	17
	12. エンジニアリング部会	18
II	委員会関係	19
	1. 政策委員会	19
	2. 労務委員会	20
	3. 貿易委員会	22
	4. 編集広報委員会	23
	5. 産業機械工業規格等調査委員会	24
	6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会	25
	7. 環境委員会	25
III	関西支部関係	27
IV	共通基盤事業関係	35
V	共通基盤活動関係	39

I 部会関係

1. ボイラ・原動機部会

(1) 統計調査の実施

ボイラの機種別、容量別の受注台数の統計調査を実施し、産業動向の調査を実施した。

(2) エネルギー、環境関連の情報収集及び普及活動の推進

ア. 2026年1月20日に、「公益財団法人地球環境産業技術研究機構（RITE）」を訪問し、化学研究グループ及びCO₂貯留研究グループにおいて現地視察及び勉強会を行った。

イ. これまでCO₂削減対策として調査したCO₂回収やアンモニア混焼、液体水素燃焼などの技術や装置の内容の取りまとめを行った。

ウ. 経済産業省の省エネルギー投資促進支援事業補助金、低炭素投資促進機構の低炭素設備リース信用保険、環境金融支援機構のESGリース促進事業、経済産業省中小企業庁の中小企業等経営力強化法、環境省のLD-Tech認証制度等について、最新の事業概要及び適合製品登録に関する情報提供を行った。

(3) 施設調査の実施

ア. 東西合同会議の一環として、2025年10月16日に鹿児島県霧島市の「坂元醸造株式会社」を訪問し、施設の視察を行った。また、城山ホテルにおいて東西合同会議を開催した。

イ. 2025年12月1日に「沖縄電力株式会社 宮古第二発電所」及び「菊之露酒造株式会社 本社工場」を訪問し、視察を行った。

(4) 女性職員間の交流促進の検討及び活動

女性交流会を開催し、女性メンバー間の交流促進を図ると共に、知識向上につながる検討及び活動を行った。

ア. 2025年6月25日に幕張メッセにて開催された「働き方改革 EXP02025 春」の視察を行った。

イ. 2025年9月18日に「東京都消防庁 池袋防災館」を訪問し、防災関連施設の視察を行った。

ウ. 2025年12月5日に上野精養軒のテーブルマナー講座に参加し、業務に資する知識の向上を図った。

(5) 関係行政機関及び関連団体等への協力

国際標準化機構規格に関し、関係行政機関及び関連団体等の専門委員会等に委員を派遣し、関連業界の意見のとりまとめ等に協力した。

- ア. ISO/TC161（ガス及び/又は油用制御器及び防護装置）国内対策委員会及びWG
- イ. ISO/TC109（オイル及びガスバーナー）国内対策委員会

2. 鋳山機械部会

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析及び把握した。

(2) 機械安全の推進

「ボーリングポンプ・グラウトポンプ」、「マッドミキサ・グラウトミキサ」に関する「安全マニュアル」の改訂版を作成した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

国内外の市場動向等について情報収集等を行った。

(4) 講演会及び研修会等の実施

ア. 講演会

2025年7月9日に次の講演会を開催した。

テーマ：「生成AIが経営を変える、いま経営者が知っておくべきこと」

講師：安原 彬裕 殿 サイエンスパーク株式会社 プラットフォーム部
画像システム課

イ. 研修会

a. 2025年5月1日

長崎県長崎市の「軍艦島」を訪問し、明治日本の産業革命遺産のひとつとして、2015年7月に世界文化遺産登録をされた三菱鋳業端島抗の現存する建物等を見学した。

b. 2025年10月23日

岐阜県岐阜市の「エフピコ中部リサイクルセンター」を訪問し、概要説明後、トレーのリサイクル、PETボトルのリサイクル工程等を見学した。

c. 2025年11月5日

熊本県熊本市の「熊本県防災センター」を訪問し、災害発生時（水害・地震等）に対応する大規模なオペレーションルーム（情報集約・共有）の見学を行うと共に、過去の災害の経験や教訓、災害発生のメカニズム、防災の取組について説明を受けた。

d. 2026年3月3日

静岡県浜松市の「浜松市西部清掃工場」を訪問し、ごみ処理システム（キルン式ガス化溶融炉）工程等を見学した。

- (5) 関係行政機関及び関連団体等との交流
経済産業省及び一般財団法人日本規格協会等との交流を行った。

3. 化学機械部会

(1) 役員改選

2025年7月11日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：福沢 義之 殿 月島機械株式会社 代表取締役社長
社長執行役員（再任）

副部会長：重洋 一 殿 木村化工機株式会社 取締役
エンジニアリング事業部長（再任）

副部会長：桑村 純司 殿 株式会社神鋼環境ソリューション 取締役執行役員
プロセス機器事業部長兼技術開発センター長（新任）

(2) 調査研究の実施

ア. 化学機械分野における環境対応、省エネルギー技術、安全性について情報収集を行った。

イ. バイオ燃料や持続可能な航空燃料（SAF）に用いられるバイオエタノールの製造技術を確立するための調査・検討を行った。2025年度は、関連施設の見学や専門家による講演会を経て、バイオエタノールに関する知見向上を図った。

(3) 講演会の開催

2025年7月11日に講演会を次のとおり開催した。

テーマ：バイオエタノールの発酵プロセスについて

講師：荻野 千秋 殿 神戸大学 大学院工学研究科 応用化学専攻
先端バイオ工学研究センター 部門長
博士（工学）

(4) 施設見学会の開催

ア. 2025年11月7日に福島県大熊町の「次世代グリーンCO₂燃料技術研究組合(raBit)」を訪問し、バイオエタノール燃料製造の実証試験設備を見学した。

イ. 2025年11月13日に富山県の「三協立山株式会社 射水工場」を訪問し、アルミ製品の製造工程を見学した。

(5) 他部会との情報交換会の開催

2025年11月5日にタンク部会、化学機械部会、エンジニアリング部会の3部合同で情報交換会を開催し、各分野における取組等について意見交換を行った。

4. 環境装置部会

(1) 役員改選

2025年4月17日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：小木 均 殿 カナデビア株式会社 専務執行役員（再任）

副部会長：能勢 洋也 殿 荏原環境プラント株式会社

取締役 運営事業本部 本部長（再任）

副部会長：福原 真一 殿 株式会社クボタ 常務執行役員 環境事業部長（再任）

副部会長：保延 和義 殿 JFE エンジニアリング株式会社 常務執行役員（新任）

副部会長：中根 幹夫 殿 新東工業株式会社 取締役 常務執行役員

ものづくり本部 本部長（再任）

副部会長：竹口 英樹 殿 株式会社タクマ 取締役 兼 副社長執行役員

エンジニアリング統轄本部長 兼

管理センター長（再任）

(2) 統計調査の実施と分析

環境装置産業の装置別生産・輸出実績に関する調査を実施し、結果を取りまとめの上、関係先に広く配布し参考に供した。また、二酸化炭素分離・回収・利活用装置について、生産額や研究開発費等の実績を整理し、その動向を把握した。

(3) 環境関連技術等に関する調査研究の実施

ア. 環境装置産業の事業展開に関する調査研究

地域の自律や活性化を指向した取組に関する事例調査を行うとともに、鹿児島県知名町を対象とした事例研究を実施した。事例研究では、知名町における社会インフラ維持等の地域課題解決に向け、委員会メンバー企業の技術適用による地域資源（廃棄物系バイオマス、ごみ等）の活用や、新たな資源循環を生み出す事業体及び事業スキームに関する「知名町地域創生ビジョン」の提案及び意見交換を行い、類似の課題を抱える地域のモデルケースの一つとして取りまとめた。

イ. 新環境ビジネスの創出に関する調査研究

環境装置・プラント業界における環境ビジネスの振興と発展に向け、a.～e.の5分野で講演会29件・施設調査19件を実施し、メンバー各社および部会の事業展開の参考となる情報を収集するとともに、新規事業の着想や可能性を探った。

a. 今後成長が期待される分野に関する調査研究

今後有望な環境ビジネスの着眼点を得ることを目的に、脱炭素関連の動向を中心に把握した。カーボンクレジットは供給不足と制度整備が課題で、新技術の価値化が成長機会となり、炭素固定型材料の活用可能性も示された。ケミカルリサイクルは前処理精度と廃プラスチック原料の標準化が鍵となるなど、今後の成長分野を検討する上で有益な知見が得られた。

b. 新たな水環境ビジネスに関する調査研究

水ビジネス拡大の可能性把握を目的に、PFAS対応や下水道の維持管理と新機能、

未利用資源活用技術等を調査した。その結果、PFAS では除去技術や残渣処理、発生源管理の課題が明らかとなった。また、下水道分野においては、ブルーカーボン・藻場再生では栄養塩管理や行政連携の重要性が示された。さらに、老朽化対策や広域化・DX など上下水道基盤強化の必要性が確認され、今後の方向性を考える上での手がかりとなった。

c. 地域資源エネルギーの利活用に関する調査研究

地域における資源・エネルギー循環の課題を把握し、環境ビジネス拡大の可能性を探ることを目的に情報収集を行った。原料調達の安定性、創出物の確実な利用先の確保、活用を支えるインフラ整備、自治体等との連携体制の構築が不可欠であることなどが明らかとなり、今後の検討に向けた基礎的知見を得た。

d. 未来社会に関する調査研究

従来の環境装置の延長ではない、宇宙開発関連技術や人間拡張技術、パワーレザー技術等について情報収集を行うとともに、未来社会に向けてバックキャストで取り組む企業等の考え方を学ぶことで、各社の事業拡大や技術開発・研究への還元の可能性を探った。

e. デジタル・AI に関する調査研究

環境装置メーカーがデジタルトランスフォーメーション (DX) を推進するにあたり、抱える課題や疑問等について有識者や SIer、業界内外のユーザー企業と意見交換を行った。また、生成 AI の製品化事例及び各種業界における DX の取組み事例、IT ベンダー・SIer 等が提供する AI エージェントや異常検知等に関する製品・サービスについて情報収集を行った。

ウ. 素材系資源循環に関する情報収集・発信

資源循環に関する国内外の政策動向、太陽光パネル及び家電リサイクル、使用済みプラスチックの高度選別の取組みについて、動静脈産業や政府などから情報収集を行った。

a. 講演会

2025 年 4 月 22 日

テーマ：AGC における太陽光パネル由来のガラスカレットの板ガラス向けリサイクルの取組状況・課題

講師：竹本 智典 殿 AGC 株式会社 建築ガラス アジアカンパニー
技術・製造統括部 生産技術・管理グループ
フラットガラス開発チーム
兼 フラットガラス開発チーム マネージャー

2025 年 10 月 30 日

テーマ：再資源化事業等高度化法について

講師：筒井 洋介 殿 環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課
課長補佐

2026 年 2 月 4 日

テーマ：成長戦略としての資源循環経済の確立に向けた取組について

講師：青木 和代 殿 経済産業省 GX グループ 資源循環経済課

課長補佐

2026年2月4日

テーマ：欧州におけるサーキュラーエコノミーに関わる動向

講師：喜多川 和典 殿 公益財団法人日本生産性本部
コンサルティング部
エコ・マネジメントセンター長

b. 施設調査

2025年10月29日

株式会社Jサーキュラーシステム「川崎スーパーソーティングセンター」
(使用済みプラスチックを高度に選別し、マテリアルリサイクルおよびケミカルリサイクル等の原料を製造する施設に関する調査)

2026年2月6日

パナソニック エコテクノロジーセンター株式会社
(家電リサイクル工場に関する調査)

エ. 2040年における環境装置に関する調査研究

我が国の労働人口が8割に減少する2040年の社会を見据え、環境施設の運営・維持管理に関する課題について情報収集を行った。

a. 講演会

2025年11月27日

テーマ：労働人口変化における対策の考察～環境施設運転向け～

講師：後藤 孝一郎 殿 株式会社ワールドインテック
コーポレート営業部 部長
猪俣 慎二 殿 株式会社クリエイティブ
統括・執行部門 取締役

オ. エコスラグの標準化並びに利用普及の推進

廃棄物溶融施設で生産される溶融固化物(エコスラグ)の利用促進を目的に、エコスラグの標準化及び利用普及に関する活動を行った。

a. 標準化の推進

- ① JIS A 5031「コンクリート用溶融スラグ骨材」及びJIS A 5032「道路用溶融スラグ骨材」について、改正に向けた活動を開始した。
- ② スラグ類の環境安全品質について、鉄鋼スラグ、非鉄スラグ及び石炭ガス化スラグの所管団体と共に、日本コンクリート工学会への委託研究を実施した。さらに、具体的な標準化に関する取組みとして、経済産業省の補助事業を活用した「循環資材の環境安全品質に係る試験方法及び検査方法の標準化に関するJIS開発」にも参画した。
- ③ 非鉄スラグ分野との連携を目的に、施設見学会及び意見交換会を実施した。

b. 利用普及の推進

- ① 「エコスラグ有効利用の現状とデータ集(2024年度版)」を2025年5月に発行した。
- ② エコスラグに関する調査

焼却熔融施設の調査を行うと共に、スラグ有効利用等の意見交換を行った。

・ちくま環境エネルギーセンター（長野県、2025年5月）

③ 5か所の地方整備局において、リサイクルポート推進協議会主催の産業副産物等利用促進協議会に参加し、生産及び利用状況について説明を行い、港湾工事分野での認知度向上を図った。

④ 自治体に対するスラグ利用普及支援

i) 自治体連絡会及び施設見学会の開催

2025年10月に産官学の情報交換・共有及び施設見学を行った。

ii) 「自治体通信」の発行

「自治体通信」を2026年3月に発行し、有効利用の情報共有を行った。

(4) 環境技術情報の発信

会員企業の環境技術や装置・機器に関する情報を系統的に取りまとめ、ウェブサイト上で広く提供するとともに、新技術・新製品及び政策動向に関する定期的な情報発信を行った。

(5) シンポジウム、講演会及び施設調査等の実施

ア. 環境関連施策及び環境産業の動向に関する講演会

a. 2025年4月17日

テーマ：成長志向型カーボンプライシング構想の具体化に向けて

講師：仁平 孝明 殿 経済産業省 GXグループ 環境経済室 室長補佐

b. 2025年6月6日

テーマ：二国間クレジット制度（JCM）の概要と最新動向

講師：竹山 典男 殿 公益財団法人地球環境センター 東京事務所
事業第二グループ長

イ. 環境関連施設調査

a. 2025年10月20日

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

六ヶ所フュージョンエネルギー研究所

（核融合発電の実現に向けた取り組みに関する調査）

b. 2025年10月21日

三沢市清掃センター

（最新の全連続式ストーカ式焼却炉の稼働状況に関する調査）

(6) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省への協力

3R推進協議会企画運営委員会に委員を派遣した。

イ. 環境省への協力

環境技術実証事業運営委員会に委員を派遣した。

ウ. 優良環境装置協議会への協力

優良環境装置協議会の実施する各種事業に協力した。

エ. 関連団体への協力

一般社団法人産業環境管理協会、一般社団法人廃棄物資源循環学会、公益社団法人日本下水道協会、一般社団法人日本能率協会等が実施した事業に協力した。

5. タンク部会

(1) 統計調査の実施

機種別の受注台数の統計調査を行い、産業動向の調査を実施した。

(2) 標準化の推進

ア. JIS B 8501 (鋼製石油貯槽の構造) とこれらに関係する最新の API (米国石油協会) 規格の比較調査結果の分析を行い、JIS B 8501 の改正に向けた検討を行った。

イ. タンク部会で過去に作成した、タンク製造時の検査記録用紙について、改正作業に着手した。

(3) 調査研究の実施

アンモニア、水素、メタネーション等の新エネルギー分野の講演会等に参加し、関連する情報収集を行った。

(4) 施設見学会の開催

2025年10月8日に北海道の「日本 CCS 調査株式会社 苫小牧 CCS 実証試験センター」を訪問し、CCS 実証プロジェクトの概要説明を受けると共に、実証試験設備の見学を行った。

(5) 他部会との情報交換会の開催

2025年11月5日にタンク部会、化学機械部会、エンジニアリング部会の3部合同で情報交換会を開催し、各分野における取組等について意見交換を行った。

(6) 関係行政機関及び関連団体への協力

公益社団法人石油学会の設備維持規格委員会 (屋外タンク) に委員を派遣し、調査・検討に協力した。

6. プラスチック機械部会

(1) 役員改選

2025年7月4日付けで、次のとおり選任した。

部会長：小池 純 殿 芝浦機械株式会社 取締役専務執行役員
成形機カンパニー長（新任）

副部会長：鈴木 将通 殿 カナデビア株式会社 機械事業本部
システム機械ビジネスユニット 営業部長（新任）

副部会長：戸田 直樹 殿 UBEマシナリー株式会社 取締役執行役員
射出成形事業本部長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

ア. 関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析及び把握した。

イ. 射出成形機、押出成形機、ブロー成形機の3機種について、主要ユーザ業界及び海外主要国の市場動向を調査し、「プラスチック機械産業の市場動向調査報告書」を作成し、公表した。

(3) 標準化の推進

ア. ISO/TC270（プラスチック加工機械及びゴム加工機械）の国内審議団体として、国際回答原案の作成及び国際会議への対応を協議した。

また、公益財団法人 JKA「2025年度プラスチック・ゴム加工機械の国際競争力に資する標準化推進補助事業」を活用して、次の ISO/TC270 国際会議に参加した。

a. 2025年11月11～13日

ISO/TC270/WG2（押出機）第9回国際会議（アメリカ/シカゴ）

b. 2025年11月14日

ISO/TC270 第11回総会（アメリカ/シカゴ）

イ. JIS B 8650（プラスチック加工機械－用語）の改正について検討した。

ウ. 射出成形機のエネルギー消費量の測定方法について検討し、JIMS K 1003:2026（ゴム及びプラスチック機械－射出成形機－エネルギー効率等級の決定方法）として発行した。

エ. ISO 20430:2020（プラスチック及びゴム機械－射出成形機－安全要求事項）の改正について検討した。

(4) 機械安全の推進

ア. 中国の GB 46035-2025（橡胶塑料机械 通用安全要求）、インドの設備・電気機器の包括的安全規則、欧州のサイバーレジリエンス法など、安全法令・規格に係る海外の動きについて調査等を行い、対応を検討した。

イ. 射出成形機を使用する上での注意事項について検討を行った。

(5) 関連情報収集等調査の実施

ア. プラスチック機械に関する米国、中国及び欧州の特許情報について調査及び検討を行った。

イ. アメリカの関税政策について情報収集、調査等を行った。

(6) 国際交流の推進

ア. 欧州プラスチック機械工業会 (EUROMAP) 及び米国プラスチック産業協会 (PLASTICS) と統計の交換を行った。

イ. アメリカの関税政策について、米国プラスチック産業協会 (PLASTICS) 及びドイツ機械工業連盟 (VDMA) と意見交換を行った。

(7) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般社団法人日本プラスチック機械工業会と交流を行った。

7. 風水力機械部会

(1) 役員改選

2025年7月2日付で、次のとおり選任した。

部会長：太田 晃志 殿 株式会社荏原製作所 執行役
インフラカンパニー プレジデント (再任)

副部会長：鶴 鉄二 殿 イーグル工業株式会社 代表取締役社長兼会長 (再任)

副部会長：原 広志 殿 株式会社電業社機械製作所 取締役上席執行役員
生産本部長 (新任)

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する生産等の統計調査を行い、産業動向の分析を行った。

(3) 標準化の推進

ア. ISO/TC115 (ポンプ) の審議事項への回答及び改正案への投票に対応した。

イ. ISO/TC117 (送風機) 及び ISO/TC118 (圧縮機) に関する通知内容を確認・検討した。

ウ. JIS B 8330 (送風機の試験及び検査方法) の改正原案作成に向けた準備作業を開始した。

(4) 機械安全の推進

ア. 空調用送風機についてのリスクアセスメント資料の作成作業を継続した。

イ. 「メカニカルシールの損傷例と対策」(メカニカルシールの損傷事例とその原因や対策について解説した冊子) について、改訂作業を継続した。

ウ. 汎用ポンプに関する Q&A 集を作成し、工業会ホームページで公開した。

エ. マンホールポンプの改築方法に関する資料の作成作業を行った。

(5) 風水力機械関連の情報提供

- ア. 高効率モータ、ポンプ、送風機等に関する最新情報を提供した。
- イ. ポンプ、送風機等に関する最新情報をメールマガジン等で提供した。
- ウ. ポンプ、送風機、圧縮機関連の JIS に関する外部からの技術的な問い合わせに対応した。
- エ. ロータリ・ブロワの用途を紹介するチラシを作成した。

(6) カーボンニュートラル政策への対応検討

政府が推進するカーボンニュートラル政策に対応していくため、新エネルギー、再生可能エネルギー、CO₂回収技術等に関連する以下の施設調査を実施した。

- ア. 電源開発株式会社 奥清津発電所 (2025 年 6 月 12 日)
- イ. 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 六ヶ所フュージョンエネルギー研究所 (2025 年 6 月 27 日)
- ウ. 佐賀市清掃工場 (2025 年 11 月 7 日)
- エ. 九電みらいエナジー株式会社 山川発電所 (2025 年 11 月 11 日)
- オ. 高知県企業局 杉田発電所 (2025 年 11 月 27 日)

(7) 技術セミナー・講演会等の開催

次の技術セミナー等を開催した。

- ア. ポンプ技術者連盟 技術セミナー (2025 年 7 月 8 日)
 - テーマ：電動機に関する基礎知識と、関連 JIS 規格の改正、最新の同期モータの紹介
 - 講師：田中 敏則 殿 三菱電機株式会社 新城工場 汎用モータ開発課 課長
(一般社団法人日本電機工業会 高効率モータ普及委員会)
 - テーマ：塗料と塗装について
 - 講師：加藤 敦也 殿 関西ペイント販売株式会社 営業部 部長
松本 和行 殿 関西ペイント販売株式会社 営業部 係長
小林 光石 殿 東海塗装株式会社 取締役 本部長
- イ. メカニカルシール講習会 (2025 年 7 月 11 日)
 - テーマ：メカニカルシールの基礎
 - 講師：今西 将之 殿 三和工機株式会社 製造部 部長
秋山 浩二 殿 イーグルブルグマンジャパン株式会社
執行役員 副社長
- ウ. 送風機技術者連盟 技術セミナー (2025 年 9 月 18 日)
 - テーマ：一般産業機械における砂型 3D プリンタの実用化
 - 講師：桂田 暢哉 殿 株式会社鶴見製作所 執行役員 技術部長
小川 学 殿 株式会社鶴見製作所 生産技術部 米子生産技術課長
島川 貴春 殿 株式会社鶴見製作所 生産技術部 米子生産技術課
 - テーマ：電動機に関する基礎知識と、関連 JIS 規格の改正、高効率化動向

- 講師：開発慶一郎 殿 株式会社日立産機システム
ドライブシステム事業部 戦略企画部 担当部長
(一般社団法人日本電機工業会 高効率モータ普及委員会 副委員長)
- エ. 風水力機械部会 講演会 (2025年10月2日)
テーマ：米国の関税政策と日本企業への影響
講師：滝本慎一郎 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 調査部米州課
- オ. メカニカルシール講習会 (2026年2月20日)
テーマ：メカニカルシールの損傷例と対策
講師：上田 誠 殿 株式会社PILLAR 技術2部 MS技術グループ
課長
- カ. プロセス用圧縮機委員会 講演会 (2026年2月26日)
テーマ：製造現場でのAI活用事例
講師：野村 英二 殿 株式会社日立製作所
インダストリアルAI ビジネスユニット
トータルシームレスソリューション統括本部
生成AI推進センタ チーフDXマネージャ

(8) 関係省庁及び関連団体への協力

- ア. 国土交通省の要請に応じ、「建築設備設計基準／建築設備設計基準 令和6年版」の改訂に協力した。
- イ. 一般社団法人公共建築協会の要請に応じ、「機械設備工事監理指針 令和7年版」の改訂に協力した。
- ウ. 一般財団法人住宅・建築SDGs推進センターの要請に応じ、JIS A 2202 (FPT法による変流量二次ポンプシステムの省エネルギー設計、初期調整及び試験方法)の原案作成に協力した。
- エ. 公益財団法人日本環境協会の要請に応じ、エコマーク商品類型No. 139 認定基準書(案)(水道用直結加圧形ポンプユニット)の確認に協力した。

8. 運搬機械部会

(1) 役員交代

部会長の退任に伴い、2025年7月18日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：二瓶 清 殿 株式会社IHI 常務執行役員
産業システム・汎用機械事業領域長

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析及び把握した。

(3) 標準化の推進

ア. JIS規格への対応

- a. JIS B 8803 (ベルトコンベヤ用ローラ)、JIS B 8941 (立体自動倉庫システム - 用語) の原案を作成した。
- b. JIS B 8825 (仕分けコンベヤ) の改正案を検討した。
- c. JIS B 0148 (巻上機 - 用語)、JIS B 1168 (アイボルト)、JIS B 2801 (シャックル)、JIS B 2803 (フック)、JIS B 2809 (ワイヤグリップ)、JIS B 8802 (チェンブロック)、JIS B 8805 (ゴムベルトコンベヤの計算式)、JIS B 8806 (クレーン用鋳鋼製車輪及び鍛鋼製車輪)、JIS B 8812 (チェンブロック用リンクチェーン)、JIS B 8814 (ベルトコンベヤ用プーリ)、JIS B 8815 (電気チェンブロック)、JIS B 8816 (巻上用チェーンスリング) の改正について検討した。
- d. 立体自動倉庫システム - 設計通則 (ケース編) について、JIS規格化について検討した。

イ. ISO・IEC等国际規格への対応

- a. ISO/TC111 (丸鋼製リンクチェーン、チェーンスリング、構成要素部品及び付属品) 及びTC111/SC3 (構成要素部品及び付属品) の議長を引き受けると共に、国際幹事国としてTC及びSCの運営等を行った。
- b. ISO/TC111国内審議団体として、チェーンの靱性評価方法、用語「一般巻上用」の定義、ISO 3056:2012 (非校正輪形鋼リンクリフトチェーン及びチェーンスリング - 使用及び保守) の改正、ISO 3076:2012 (一般巻き上げ用丸鋼ショートリンクチェーン - チェーンスリング用の中間公差スリングチェーン - 等級8) の改正に関する国際回答原案の作成及び国際会議への対応を行った。
- c. ISO 16872:2015 (巻上げ用丸鋼ショートリンクチェーン - 手動操作式チェーンホイスト用ロードチェーン - 等級VH) 及びISO 16877 (巻上げ用丸鋼ショートリンクチェーン - 手動操作式チェーンホイスト用ロードチェーン - 等級TH) の改正に係るプロジェクトリーダーを引き受けた。

(4) 機械安全の推進

- ア. 「大規模倉庫における防火シャッター降下部のコンベヤに関するガイドライン」の改訂版を作成した。
- イ. 「立体自動倉庫 工事安全基準」の改訂版を引き続き作成した。
- ウ. 立体自動倉庫の柵外からの操作についての指針作成を引き続き検討した。
- エ. 製品安全ラベルに関するガイドライン作成を引き続き検討した。
- オ. 「物流システム機器ハンドブック」についての改訂版作成を引き続き検討した。
- カ. JIMS J-1001 ユニット式ラック構造設計基準の改訂版作成について検討した。

(5) 国内外の関連調査の実施

- ア. バルクコンベヤの歴史 (技術の変遷等) について、引き続き調査した。
- イ. 人件費の上昇や効率化ニーズを背景に自動化 (自動倉庫等) が急速に進展しているタイにおいて、2026年2月9日～13日にかけて、最新の物流事情等に関する情報収集を

行った。

(6) 展示会等の開催の推進

2025年9月10日～12日開催の「国際物流総合展 2025 第4回INNOVATION EXPO」（東京国際展示場）を共催した。

(7) 講演会及び研修会等の実施

ア. 講演会

2025年7月18日に次の講演会を開催した。

テーマ：「物流拠点の今後のあり方等物流を取り巻く環境変化」

講師：大島 弘明 殿 流通経済大学 流通情報学部 教授

イ. 研修会

a. 2025年8月29日

青森県上北郡六ヶ所村の「六ヶ所原燃PRセンター」を訪問し、原子燃料リサイクル施設について説明を受けた。

b. 2025年10月17日

鹿児島県熊毛郡の「JAXA種子島宇宙センター」を訪問し、H-II ロケット7号機の実物、ロケット部品等の見学をした。

c. 2025年11月14日

岩手県陸前高田市を訪問し、「東日本大震災震災遺構」、「陸前高田ユースホステル跡」、「タピック45跡」等の見学をした。

d. 2025年11月27日

兵庫県神戸市の「グリコピア神戸」を訪問し、主製品である「ポッキー」の生産工程を見学した。

e. 2025年12月12日

山口県宇部市の「UBEマシナリー株式会社」を訪問し、ダイカストマシン、粉碎機等の生産工程を見学した。

f. 2026年2月27日

茨城県つくば市の「国立研究開発法人防災科学技術研究所」を訪問し、地震の実験施設、大型降雨実験施設等を見学した。

(8) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省、国土交通省、厚生労働省及び一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本クレーン協会、一般社団法人日本電機工業会等関連団体と交流を行った。

9. 動力伝導装置部会

(1) 役員改選

2025年7月8日付けで、次のとおり選任した。

部会長：三輪 晃久 殿 住友重機械ギヤボックス株式会社
代表取締役社長（再任）

副部会長：市原 英孝 殿 富士変速機株式会社 代表取締役社長（再任）

(1) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析及び把握した。

(2) 関連情報収集等調査の実施

ア. 国内外の市場動向等について情報収集、調査等を行った。

イ. 海外調査団の派遣

2025年9月11日～14日の日程でマレーシアに調査団を派遣し、次の事業所を訪問した。

a. Top Glove Corporation Berhadを訪問し、ゴム手袋業界の現状や世界市場での課題等について意見交換を行うと共に、R&Dセンター及び製造工場の見学を行った。

b. Royal Selangor Visitor centerを訪問し、スズ合金を用いた伝統工芸品の製造工場を見学すると共に、その歴史について説明を受けた。

(3) 最新技術に関する調査の実施

減速機に使用される塗料について、最新動向の情報収集、調査等を行った。

(4) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

ア. 講演会

2025年7月8日に次の講演会を開催した。

テーマ：製品ライフサイクルにおける化学物質管理

講師：横井 孝洋 殿 日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社

コーポレート統括本部 管理部

安全環境品証グループ グループリーダー

(5) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省との交流を行った。

10. 製鉄機械部会

(1) 役員改選

副部会長の退任に伴い、2025年10月30日付けで次のとおり選任した。

副部会長：後藤 朗 殿 プライメタルズテクノロジーズジャパン株式会社
代表取締役社長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

関連機械に関する統計調査を行い、産業動向を分析及び把握した。

(3) 関連情報収集等調査の実施

ア. 国内外の市場動向について情報収集、調査等を行った。

イ. 脱炭素・カーボンニュートラル技術の最新動向について情報収集、調査等を行った。

ウ. インドにおける設備・電気機器の包括的安全規則の動向や課題について情報収集、調査等を行った。

エ. 欧州の機械規則、サイバーレジリエンス法の施行に向けて情報収集、調査等を行った。

オ. アメリカの関税政策について情報収集、調査等を行った。

(4) 標準化の推進

ア. JIMS D シリーズ（圧延設備）の追補改正を行った。

イ. ISO において連続鋳造設備の安全要求事項に関する新たな規格を開発する動きが見られたことから、その対応について協議した。

(5) 講演会、施設調査及び研修会等の実施

2025年8月6日に次の講演会を開催した。

テーマ①：GX政策の動向について

講師：屋田 春希 殿 経済産業省 GX グループ 環境政策課 総括係長

テーマ②：日本鉄鋼業を取り巻く状況

講師：兼子 正志 殿 一般社団法人日本鉄鋼連盟 業務部 部長

(6) 関係行政機関及び関連団体等との交流

経済産業省及び一般社団法人日本工業炉協会会員企業との交流を行った。

11. 業務用洗濯機部会

(1) 役員改選

2025年5月26日に部会総会を開催し、次のとおり選任した。

副部会長：持田 一史 殿 株式会社アサヒ製作所 取締役 営業本部長（新任）

(2) 統計調査の実施と分析

機種別、容量別の出荷台数について、月次で統計調査を実施し、産業動向の把握を行った。

(3) 調査研究の実施

ア. 環境、安全、衛生、省力化及び省エネルギー対策技術について最新情報を収集し、対応策を検討した。

イ. 業務用洗濯機械に関するISO規格の動向を調査し、ISO 10472シリーズ（業務用洗濯機械の安全規程）について、原文和訳と内容精査作業を行った。

ウ. 各種補助金の獲得に向けた業務用洗濯機械の定義、分類、区分けを整理した。

また、経済産業省中小企業庁の省力化補助金制度について勉強会を開催し、カテゴリ登録申請、カタログ申請方法に関する情報を共有し、理解を深めた。

エ. 耐用年数の短縮について、一般社団法人日本病院寝具協会、一般社団法人リネンサプライ協会に対し、継続して働きかけを行った。

(4) 関連分野の動向調査

国内、海外市場の動向を調査し、各社が独自調査した展示会情報（クリーニング産業総合展2025：東京ビッグサイト）等を通じて、市場・技術動向を共有した。

(5) 海外調査の実施

業務用洗濯機械の大規模国際展示会である「The Clean Show 2025」（米国：Orlando）に参加すると共に、現地のクリーニング工場及びコインランドリー等について、全日本クリーニング機械連合会と合同で視察調査を行った。

(6) 関連団体等との協力

リネン・クリーニング業界発展に資することを目的として、関連団体と情報交換を行った。

ア. 日本クリーニング用洗剤同業界、業務洗濯機部会、全日本クリーニング機械連合会との情報交換懇親会に参加した。

イ. 一般社団法人日本病院寝具協会及び一般社団法人日本リネンサプライ協会に理事を派遣し、ユーザー団体の動向調査及び意見交換を行った。

ウ. 全国クリーニング協議会主催の記念講演会及び懇親会に参加した。

12. エンジニアリング部会

(1) 役員改選

2025年6月23日の部会総会において、次のとおり選任した。

部会長：紺野 哲哉 殿 千代田化工建設株式会社
専務執行役員 地球環境プロジェクト
事業本部 本部長（新任）

(2) 施設調査の実施

ア. 2025年7月21日～23日の日程で台湾視察を行った。

「KAVALAN(カバラン)蒸留所」、「TSMC ミュージアム・オブ・イノベーション館」、
「工業技術研究院本部中興センター」、「台湾電力公司大潭発電所」を視察した。

また、「日台交流協会 台北事務所」を訪問し、台湾における産業機械及び工業製品の現況について説明を受けた。また、東亜経済協会との交流会及び会食を行った。

イ. 2025年10月8日に「日本 CCS 調査株式会社 苫小牧 CCS 実証試験センター」の施設調査を実施した。

(3) 他部会との情報交換会の開催

2025年11月5日にタンク部会、化学機械部会と合同で情報交換会を開催し、各部会所属会社の主な取組等情報交換を行った。

なお、エンジニアリング部会からは、次の企業が発表を行った。

- ・カナデビア株式会社
- ・株式会社日立製作所

(4) PCI/LF 委員会への協力

2005年度より PCI（プラントコストインデックス）/LF（ロケーションファクター）委員会（日本機械輸出組合主催）の調査研究に参加し、2025年度版の PCI/LF 報告書の作成に協力した。

Ⅲ 委員会関係

1. 政策委員会

(1) 委員会

2025年度は8回開催し、当工業会の事業運営事項について企画・立案・審議すると共に、法務問題や税制のあり方等について審議し、理事会等へ上程した。

なお、開催状況は次のとおり。

ア. 第 556 回 (2025 年 4 月 16 日)

a. 講演

テーマ：ドイツの政治・経済・産業の最新動向と今後の方向性

講師：高塚 一 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 海外展開支援部
主幹

b. 2024 年度事業報告 (案)

c. 2024 年度決算報告 (案)

d. 決議 (案)

e. 2025 年度産業機械工業功績者表彰候補者 (案)

f. 役員の改選

イ. 第 557 回 (2025 年 6 月 18 日)

a. 講演

テーマ：経済産業省のインドに対する取組み

講師：島野 敏行 殿 経済産業省 通商政策局 南西アジア室 室長

ウ. 第 558 回 (2025 年 7 月 16 日)

a. 講演

テーマ：通商白書 2025

講師：三好 将之 殿 経済産業省 通商政策局 企画調査室 総括補佐

エ. 第 559 回 (2025 年 9 月 17 日)

a. 講演

テーマ：デジタル人材育成施策の現状と方向性

講師：枝川 慶彦 殿 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課
デジタル人材政策室 デジタル人材政策企画調整官

b. 令和 8 年度税制改正要望 (案)

c. 2025 年度海外貿易会議

d. 米国関税措置に係る影響調査

e. インド BIS による強制認証に係る影響調査

f. 政策委員会内役割分担案

g. 当工業会の新しい取り組みに係る進捗

- オ. 第 560 回 (2025 年 10 月 8 日)
 - a. 関西大会における提言 (案)
- カ. 第 561 回 (2025 年 12 月 17 日)
 - a. 講演
 - テーマ：サイバーセキュリティ政策について
 - 講師：川内 拓行 殿 内閣官房 国家サイバー統括室
対処調整・官民連携等ユニット 企画官
 - b. 「環境活動基本計画」フォローアップ調査実施報告
 - c. 協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画 (案)
- キ. 第 562 回 (2026 年 2 月 18 日)
 - a. 講演
 - テーマ：輸出管理措置をめぐる動向とサプライチェーン強靱化の取組について
 - 講師：伊藤 袈斐 殿 経済産業省 製造産業局
サプライチェーン強靱化政策室 総括補佐
 - b. 2026 年度政策委員会事業計画 (案)
 - c. 定款変更 (案)
- ク. 第 563 回 (2026 年 3 月 18 日)
 - a. 講演
 - テーマ：国際航空貨物に対する検査方法の一部見直しについて
 - 講師：八柳慎太郎 殿 国土交通省 航空局 航空保安対策室 専門官
 - b. 2026 年度産業機械の受注見通し (案)
 - c. 2026 年度事業計画 (案)
 - d. 2026 年度収支予算 (案)

(3) 税制小委員会

2026年度税制改正にあたり、会員からの要望・意見を集約、検討して、政策委員会に上程した。

2. 労務委員会

(1) 委員会

雇用、賃金、関係法令等の労働情勢を確認し、労使協調を基盤とした労務対策の研究及び推進を図ることを目的に、2025年度は次のとおり4回開催した。

ア. 2025年7月度委員会 (2025年7月15日)

- a. 2025年度賃金・夏季賞与交渉状況
- b. 通勤費支給
- c. 共済会 (互助会)
- d. 請負業者など協力会社の社員への費用負担の取り扱い
- e. 会社の社会貢献活動・ボランティア活動等での社員の取り扱い

- f. 休職者の管理
- g. 勤務時間中の中抜けの扱い
- h. 人事配置に関する社内公募制度やFA制度の導入状況
- イ. 2025年10月度委員会（2025年10月23日）
 - a. 2025年度年末賞与交渉状況
 - b. 2026年度新規採用状況
 - c. 労働管理時間
 - d. シニア活動のための人事施策
 - e. 育児介護休業法改正（10月施行分）への対応
 - f. 障害者法定雇用率の更なる引き上げへの対応
 - g. 遠隔地でのリモート勤務のリクエスト
 - h. 欠勤となった社員への欠勤日数に対する賃金の支給
 - i. 「南海トラフ地震臨時情報」が発報された際の対応
- ウ. 2025年12月度委員会（2025年12月5日）
 - a. 2025年度年末賞与交渉状況
 - b. 勤務地変更を伴う人事異動
 - c. 外国人採用の課題
 - d. 多面観察（360度評価）の実施等
 - e. 生理休暇の取得実績等
 - f. 会社発行の通知書等の敬称
 - g. 会社カレンダー（出勤日）の決め方の原則やルール等
- エ. 2026年3月度委員会（2026年3月24日）
 - a. 2026年度賃金・夏季賞与交渉状況
 - b. 新卒採用活動における「初期配属確約」
 - c. 労働関連法に関する教育研修
 - d. 幹部層社員のサクセッションプランの仕組みの有無、運用状況
 - e. 人材アセスメントの導入状況
 - f. 健保組合の健康保険料率
 - g. 従業員のマネー教育（金融リテラシー向上）
 - h. 長期出張社員に対する制度の有無
 - i. 国内転勤における社宅の貸与期限の有無と年数
 - j. 労基法上の「管理監督者」と社内制度における「管理職」
 - k. 中小企業クラスの子会社の昇給についての進め方等
 - l. 休日移動に関する手当の取り扱い

(2) 労働・雇用状況等の調査

労働、雇用に関する調査を実施した。

- ア. 2025年度賃金交渉状況調査
- イ. 2025年度夏季賞与交渉状況調査
- ウ. 2025年度年末賞与交渉状況調査

エ. 一般社団法人日本経済団体連合会への調査協力

- a. 2025 年度福利厚生費調査
- b. 業種別賃金・労務厚生等調査

3. 貿易委員会

(1) 役員交代

委員長の退任に伴い、2025年6月16日の委員会において次のとおり選任した。

委員長：山本 淳一 殿 カナデビア株式会社 執行役員
脱炭素化事業本部長（新任）

(2) 産業機械貿易振興事業

ア. ジェトロ・ウィーン及びシカゴ事務所に当工業会の担当窓口を設置し、産業機械に関する市場調査、各種情報収集、引合・斡旋及び広報活動等を行った。

ウィーン担当：徳島 康介 殿

シカゴ担当：村山 裕紀 殿

イ. 北米、欧州地域、中近東諸国、アフリカ諸国における産業機械関連の調査を実施した。調査内容は、毎月「海外情報」に取りまとめ、会員等関係者への配布及びウェブサイトでの情報提供を行った。

ウ. 産業機械の海外市場拡大のための市場環境及びわが国並びに関係諸外国の貿易政策等の情報収集を行い、会員企業の海外活動を支援した。

(3) 産業機械の国際競争力強化に関する調査研究事業の推進

ア. 海外市場等に関する調査

再生可能エネルギーの導入が進み、イノベーションが盛んなことから、多くの有名なスタートアップ、ユニコーン企業が輩出されているスウェーデンの貿易、投資、産業、進出日系企業の動向等に関する調査を実施した。また、欧州で初めてグリーン水素の大規模生産の取り組みが始動したイタリアにおける新エネルギーにかかる取り組み等に関する調査を実施した。

イ. 会員の海外展開に関する情報収集

産業機械業界における海外事業の支援を図るため、会員企業の海外展開に関する情報収集を行った。

(4) 海外貿易会議の実施

8月31日～9月8日にかけて、経済産業省主催の第30回（2025年度）海外貿易会議をスウェーデン及びイタリアにおいて開催した。

スウェーデンでは、在スウェーデン日本国大使館、ストックホルム日本商工会、現地日系企業、スウェーデン政府気候産業省、スウェーデン防衛産業協会（SOFF）、スウェーデン貿易投資公団（Business Sweden）、現地日系企業及び現地企業から講

師を招き、スウェーデンの経済、政治、外交、産業、防衛、投資環境、環境施策、日系企業によるビジネス展開等に関する講演を聴講すると共に、意見交換を行った。

また、Ovako、スウェーデン王立工科大学（KTH）、Saab、スウェーデン空軍博物館を訪問し、意見交換及び視察等を行った。

イタリアでは、高級自動車産業等を中心とする歴史ある産業に加え、スマートファクトリー化等の革新的な取組に関する動向について調査を実施した。現地では、荏原製作所、フェラーリ、ベーカーヒューズを訪問し、意見交換及び視察等を行った。

（５）講演会の開催

ア．2025年6月16日

テーマ：EU政策と環境ビジネスの動向

講師：佐藤 龍彦 殿 カナデビア株式会社 海外統括本部 事業統括部
第1推進部（前 産機工ウィーン駐在員）

イ．2026年3月11日

テーマ：グローバルサウスとの連携強化に向けた取組

-官民連携での共創プロジェクトの推進-

講師：板橋 洋平 殿 経済産業省 通商政策局 貿易振興課 課長補佐（総括）

（６）関係行政機関及び関連団体への協力、連携

ア．各種調査情報を経済産業省、独立行政法人日本貿易振興機構等関連機関へ提供すると共に、産業機械産業の健全な貿易発展のための連携を図った。

イ．海外からの引合・斡旋等を行い、円滑な貿易の遂行に協力した。

4．編集広報委員会

（１）委員会

2025年度は次のとおり2回の委員会を開催し、以下の事項について審議を行った。

ア．2025年度第1回（2025年7月31日）

a．月刊機関誌「産業機械」2025年1～6月号の経過報告

b．月刊機関誌「産業機械」2025年7～12月号会員トピックス・コラムアンケート結果

c．月刊機関誌「産業機械」2025年7月号特集

d．月刊機関誌「産業機械」2025年12月号 その他特集

e．月刊機関誌「産業機械」2026年の編集方針

イ．2025年度第2回（2025年12月2日）

a．月刊機関誌「産業機械」2025年7～12月号会員トピックス・コラム掲載報告

b．月刊機関誌「産業機械」2025年12月号その他特集の報告

c．月刊機関誌「産業機械」2025年12月号特別企画座談会の報告

d. 月刊機関誌「産業機械」2025年1～6月号会員トピックス・コラムアンケート結果

(2) 座談会 (2025年10月21日)

テーマ：製造業（産業機械業界）における労働災害対策の現状と課題

出席者：藤原 正紫 殿 株式会社IHI 人事部 安全衛生・健康推進グループ
グループ長

石山 祐二 殿 株式会社荏原製作所 人事統括部
労働安全衛生推進部 部長

山下 充敏 殿 月島 JFE アクアソリューション株式会社
技術本部QSE部 部長

山本 恭士 殿 三菱化工機株式会社 安全衛生管理室 室長

(3) 施設見学会 (2025年5月27日)

「大阪・関西万博」を訪問し、会員各社のパビリオンを見学した。

未来の都市パビリオン：株式会社神戸製鋼所展示プレイス

川崎重工業株式会社展示プレイス

カナデビア株式会社展示プレイス

株式会社クボタ展示プレイス

日本館：バイオガスプラント見学ツアー（カナデビア株式会社）

三菱未来館：三菱グループ

住友館：住友グループ

5. 産業機械工業規格等調査委員会

(1) 役員改選

2025年9月22日の第1回委員会において、次のとおり選任した。

委員長：永田 修 殿 株式会社荏原製作所 執行役 建築・産業カンパニー
プレジデント（再任）

(2) 委員会開催

ア. 2025年度第1回委員会を2025年9月22日に開催し、2025年度上期における機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。

イ. 2025年度第2回委員会を2026年3月9日に開催し、2025年度下期における機種別部会のISO、JIS、JIMS関連の活動状況及び関連法規、規格等への対応状況について報告及び確認を行った。

併せて、JIMS K-1003（ゴム及びプラスチック機械—射出成形機—エネルギー効率等級の決定方法）の制定及びDシリーズ追補改正を承認した。

(3) 講演会開催

委員会参加者の産業機械工業規格の国内外における現状把握と標準化に関する知識向上を目的として、2026年3月9日に次の講演会を開催した。

テーマ：「ISOにおける国際標準化の最新動向」

講演者：中川 梓 殿 一般財団法人日本規格協会 上席執行役員
規格開発本部副本部長

6. 産業機械工業功績者表彰選考委員会

2025年4月8日に委員会を開催し、会員企業の役員または職員のうち産業機械工業の発展に特に貢献された功績者5名を表彰候補者として選出し、理事会（書面）（2025年4月23日）へ上程した。

7. 環境委員会

(1) 役員交代

委員長の退任に伴い、2025年6月27日の委員会において次のとおり選任した。

委員長：石坂 浩一 殿 三菱重工業株式会社 シニアフェロー 総合研究所
技師長（新任）

(2) 委員会

ア. 第97回委員会（2025年6月27日）

2025年度定例調査（VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査）、「環境活動報告書2025」の内容等について審議を行った。

イ. 第98回委員会（2025年12月11日）

2025年度定例調査（VOC大気排出実績調査、環境活動基本計画フォローアップ調査）の結果について審議を行った。

(3) ワーキンググループの活動

ア. VOC自主管理ワーキンググループ

「VOC排出実態調査」を実施し、調査結果の集計・評価を行い、当工業会のVOC自主管理のあり方について検討した。

イ. 環境活動基本計画フォローアップワーキンググループ

「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査について、集計・評価等を行った。

ウ. 環境活動報告書作成ワーキンググループ

「2025年度環境活動報告書」の構成の検討、取材、報告書案の作成等を行った。

(4) 内外動向の調査研究

産業機械工業における環境保全対策の動向を把握する目的から、「産業機械工業の環境活動基本計画」2025年度定例調査及び、「VOC大気排出実績調査」2025年度調査を実施すると共に、各集計結果を会員、関係省庁及び関連団体に報告した。

(5) 関係行政機関及び関連団体への協力

ア. 経済産業省

2025年度カーボンニュートラル行動計画について、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

イ. 一般社団法人日本経済団体連合会

カーボンニュートラル行動計画・循環型社会形成自主行動計画の2025年度フォローアップ調査について、「産業機械工業の環境活動基本計画」定例調査結果に基づき回答した。

(6) 報告書等のとりまとめと情報提供

委員会活動において、「2025年環境活動報告書」を始めとする各種報告書を取りまとめ関係機関へ提出する等、情報提供に努めた。

IV 関西支部関係

本部と緊密な連携を図り、機種別部会、政策委員会及び労務委員会を随時開催すると共に、経済産業省近畿経済産業局をはじめとする関係省庁及び関連団体と連携し、次の事業を行った。

1. ボイラ・原動機部会

(1) 講演会の開催

2025年9月5日に次のとおり開催した。

テーマ：第七次エネルギー基本計画における省エネルギー施策の推進について

講師：山中 和広 殿 経済産業省 近畿経済産業局

資源エネルギー環境部 エネルギー対策課長

(2) 施設調査の実施

ア. 2025年6月5日に「北海道石油協同備蓄基地（北海道苫小牧市）」を訪問し、世界最大級の地上タンク方式の原油タンク 33 基、2t/h 貫流ボイラ 15 缶、安全防災設備等を視察した。

イ. 2025年7月4日に「大阪・関西万博（大阪府大阪市）」を訪問した。「RITE 未来の森」では、大気から直接二酸化炭素を回収する技術（DAC）及び貯留技術等について実証設備を視察した。「電力館」では、将来のエネルギーの可能性について理解を深めた。「三菱未来館」及び「日本館」では、循環型の持続可能な社会の実現に向けた先端的な技術等について展示説明を受け、見学した。

(3) 東西合同会議

2025年10月16日から17日にかけて鹿児島県鹿児島市で開催し、本部及び関西支部における2025年度事業計画及び進捗状況等について報告並びに意見交換を行った。また、「坂元醸造株式会社（鹿児島県霧島市）」を訪問し、壺造り黒酢の歴史や製法等について説明を受けると共に、壺畑を見学した。

2. 化学機械部会

(1) 講演会の開催

2025年9月18日に次のとおり開催した。

テーマ：賃上げと投資が牽引する成長型経済へ

講師：小谷 純二 殿 経済産業省 近畿経済産業局 産業部

製造産業課長

テーマ：「宇山研究室」の研究内容（バイオプラスチック、多孔質材料、ハイドロゲル等）について

講 師：宇山 浩 殿 大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻 教授

(2) 施設調査の実施

2025年9月18日に「大阪大学吹田キャンパス（大阪府吹田市）」を訪問し、宇山研究室（大阪大学大学院工学研究科応用化学専攻）のバイオプラスチック関連実験設備等を視察すると共に、将来性等について意見交換を行った。

3. 環境装置部会

(1) 役員改選

2025年7月16日に次のとおり選任した。

部会長：柴田 清 殿 株式会社タクマ 常務執行役員
エンジニアリング統轄本部 設計センター（新任）

副部会長：沼田 一 殿 株式会社クボタ 焼却溶融プラント部長（新任）

(2) 講演会の開催

2025年7月16日に次のとおり開催した。

テーマ：PFAS（有機フッ素化合物）規制の最新動向等について

講 師：柴原 祥孝 殿 株式会社 KRI 先進技術調査部 上級研究員

テーマ：微細目固液分離スクリーン（ファインアーク®-60）

講 師：川本 崇彰 殿 東洋スクリーン工業株式会社 企画技術部長

テーマ：Dual Fuel バイオガス発電システム（6EY26LDF）

講 師：豊園 真也 殿 ヤンマーエネルギーシステム株式会社
エンジニアリング部

(3) 施設調査の実施

2025年10月2日に「碧南火力発電所（愛知県碧南市）」を訪問し、燃料アンモニア設備、ボイラ、タービン、発電機等を視察すると共に、アンモニア実証事業について意見交換を行った。

同日、「西知多クリーンセンター（愛知県知多市）」を訪問し、焼却施設及び粗大ごみ処理施設を視察した。

4. 風水力機械部会

(1) 講演会の開催

2025年9月11日に次のとおり開催した。

テーマ：最近の金融経済情勢について

講 師：大塚 竜 殿 日本銀行 大阪支店 副支店長

5. 運搬機械部会 巻上機委員会 繊維スリング分科会

(1) 役員改選

役員改選期に伴い、2025年5月29日に次のとおり選任した。

分科会長：圓尾 哲朗 殿 東レインターナショナル株式会社
産業資材部長（新任）

副分科会長：津田 和則 殿 象印チェンブロック株式会社
専務取締役（再任）

(2) 講演会の開催

2025年5月29日に次のとおり開催した。

テーマ：関西経済をめぐるトピックス

講師：小谷 純二 殿 経済産業省 近畿経済産業局 産業部
製造産業課長

(3) 施設調査の実施

2025年10月24日に「ジェイ・バス株式会社小松工場（石川県小松市）」を訪問し、バス製造ラインを視察した。

6. 政策委員会

2025年度は計8回開催し、関西地域の有識者による講演会を実施すると共に、本部運営幹事会において報告された産業機械統計、当工業会の活動状況、海外情報等について報告を受け、意見交換を行った。

(1) 第571回（2025年4月25日）

ア. 講演

テーマ：令和7年度中小機構の重点施策

～100億企業創出支援と大阪・関西万博関連事業～

講師：村上 裕二郎 殿 独立行政法人中小企業基盤整備機構
近畿本部長

イ. 第118回運営幹事会に関する報告

a. 統計関係報告（2025年2月分）

b. 工業会の活動状況

c. 海外情報

d. 常任幹事・幹事の補充選任

e. 委員長・部会長の選出

f. 新入会員

g. 2024年度事業報告（案）

h. 2024年度決算報告（案）

i. 決議（案）

j. 2025年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）

(2) 第572回（2025年6月25日）

ア. 講演

テーマ：供給制約に立ち向かう関西経済、関西機械産業について

講師：稲田 義久 殿 甲南大学 名誉教授

一般財団法人アジア太平洋研究所
数量経済分析センター長

イ. 第 119 回運営幹事会に関する報告

- a. 統計関係報告 (2025 年 4 月分)
- b. 工業会の活動状況
- c. 海外情報
- d. 幹事の補充選任
- e. 委員長・部会長の選出
- f. 新入会員

(3) 第 573 回 (2025 年 8 月 1 日)

ア. 講演

テーマ：商事紛争における仲裁及び調停の利用

講師：北川 慎介 殿 一般社団法人日本商事仲裁協会 理事長

イ. 第 120 回運営幹事会に関する報告

- a. 統計関係報告 (2025 年 5 月分)
- b. 工業会の活動状況
- c. 海外情報
- d. 幹事の補充選任
- e. 委員長・部会長の選出

(4) 第 574 回 (2025 年 9 月 30 日)

ア. 講演

テーマ：2025 年度設備投資計画調査について

講師：渡会 浩紀 殿 株式会社日本政策投資銀行 関西支店
企画調査課長

イ. 第 121 回運営幹事会に関する報告

- a. 統計関係報告 (2025 年 7 月分)
- b. 工業会の活動状況
- c. 海外情報
- d. 新入会員
- e. 令和 8 年度税制改正要望 (案)
- f. 2025 年度海外貿易会議

(5) 第 575 回 (2025 年 10 月 28 日)

ア. 講演

テーマ：プラスチック成形加工業と産業機械との関係及び新しい展開に
ついて

講師：岩崎 能久 殿 一般社団法人西日本プラスチック製品工業協会
会長
岩崎工業株式会社 代表取締役会長

イ. 第 122 回運営幹事会に関する報告

- a. 統計関係報告 (2025 年 8 月分)

- b. 工業会の活動状況
- c. 海外情報
- d. 幹事補充選任
- e. 委員長の選出

(6) 第 576 回 (2025 年 12 月 23 日)

ア. 講演

テーマ：令和 8 年度関西、稼ぐ力の更なる向上を目指して

講師：谷原 秀昭 殿 経済産業省 近畿経済産業局 産業部長

イ. 第 124 回運営幹事会に関する報告

- a. 統計関係報告 (2025 年 10 月分)
- b. 工業会の活動状況
- c. 海外情報
- d. 新入会員
- e. 「環境活動基本計画」目標達成に向けたフォローアップ調査実績報告
- f. 協力企業との適正取引推進に向けた行動計画 (案)

(7) 第 577 回 (2026 年 2 月 27 日)

ア. 講演

テーマ：令和 8 年度経済産業省予算について ～霞が関と永田町の関係～

講師：鈴木 浄博 殿 経済産業省 近畿経済産業局
資源エネルギー環境部長

イ. 特別説明

テーマ：株式会社日本貿易保険 (NEXI) の商品・サービス概要

講師：村木 正大 殿 株式会社日本貿易保険 常務執行役員
大阪支店長

ウ. 第 125 回運営幹事会に関する報告

- a. 統計関係報告 (2025 年 12 月分及び年間統計)
- b. 工業会の活動状況
- c. 海外情報
- d. 幹事補充選任
- e. 新入会員

(8) 第 578 回 (2026 年 3 月 27 日)

ア. 講演

テーマ：経済安全保障の観点からの技術流出対策について

講師：前原 誠 殿 経済産業省 近畿経済産業局 国際部長

イ. 第 126 回運営幹事会に関する報告

- a. 統計関係報告 (2026 年 1 月分)
- b. 工業会の活動状況
- c. 海外情報
- d. 常任幹事補充選任
- e. 新入会員

- f. 2026年度産業機械受注見通し（案）
- g. 2026年度事業計画（案）
- h. 2026年度収支予算（案）

7. 労務委員会

労働対策について、講演会、施設調査及び意見交換等を行った。

(1) 役員改選

2025年7月25日に次のとおり選任した。

委員長：山口 貴弘 殿 カナデビア株式会社 業務管理本部
人事部長（新任）

(2) 講演会の開催

2025年7月25日に次のとおり開催した。

テーマ：ビジネスと人権について

～日系企業の責任あるサプライチェーンに向けて～

講師：山田 美和 殿 独立行政法人日本貿易振興機構 アジア経済研究所
新領域研究センター 上席主任調査研究員

(3) 施設調査の実施

2025年11月28日に「Microsoft AI Co-Innovation Lab Kobe（兵庫県神戸市）」を訪問し、企業のAI活用支援に関する取組について説明を受けると共に、展示内容を視察し、意見交換を行った。

(4) 意見交換会

2026年2月20日に次の事項について意見交換を行った。

- ア. 2026年度の賃上げ
- イ. 社宅制度及び家賃補助制度
- ウ. 女性活躍推進に関する社内制度

8. 新年賀詞交歓会等

(1) 関西大会懇親会

2025年11月20日、リーガロイヤルホテルにおいて関西大会終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

2026年1月9日、リーガロイヤルホテルにおいて開催した。

9. 各種調査への協力

関西団体協議会等に参加し、活動方針の意見交換等に協力したほか、関西製造業における事業継続能力向上戦略調査専門部会に参加し、同調査報告書の作成に協力した。

10. 勉強会の開催

(1) 関西発！水素・アンモニア社会実現のための勉強会

大阪・関西万博を契機として、関西地区における水素・アンモニア拠点のポテンシャルを活かし、官民一体となって水素・アンモニア社会の実現を目指すため、2025年度より新たに開催した。

ア. 第1回(2025年8月26日)

大阪市内において開催し、関西における水素・アンモニア関連ビジネスの最新動向、商用サプライチェーンの全体像及び今後の事業展望等について理解を深めた。

a. 特別講演

テーマ：関西地域に向けたクリーン水素・クリーンアンモニアサプライチェーンの構築について

講師：高尾 真史 殿 株式会社IHI
アンモニアバリューチェーンプロジェクト部
国内バリューチェーングループ

講師：佐藤 俊亮 殿 関西電力株式会社 水素事業戦略室
事業開発グループ チーフマネジャー

講師：中川 和也 殿 三井化学株式会社
グリーンケミカル事業推進室
生産技術統括

講師：松原 明弘 殿 三井物産株式会社
ベーシックマテリアルズ本部
メタノール・アンモニア事業部
クリーンアンモニア 事業開発室 次長

講師：板村 彩音 殿 三井物産株式会社
ベーシックマテリアルズ本部
メタノール・アンモニア事業部
クリーンアンモニア 事業開発室

b. 講演

テーマ：水素ステーション向け0リングの開発とこれからの展望について

講師：高石 秀之 殿 高石工業株式会社 代表取締役

テーマ：FUKUI 安全弁でCN社会を支える「10年後のマーケットリーダー」
を目指して

講師：川勝 玲央 殿 株式会社福井製作所
グローバルマーケティンググループ

c. 水素・アンモニアビジネス交流ラウンジ

参加者が水素・アンモニアを自身のビジネスに取り入れるための「ヒント」を得るため、講演者が、「水素・アンモニアビジネスに取り組んだきっかけ」、「見えてきた課題」、「今後の展望など」についてパネルディスカッションを行いながら、事前に募集した質問や会場からの質問に答えた。

イ. 第2回 (2026年2月13日)

関西電力株式会社姫路第二発電所及び株式会社神戸製鋼所高砂製作所を訪問し、水素混焼発電実証設備及び水素供給実証設備を視察すると共に、実証事業の進捗状況や実装に向けた課題等について意見交換を行った。

(2) 政策道場

政策実施責任者を講師に迎え、国の重要政策について理解を深めると共に、企業における実践的な活用を目的として、2025年度より新たに開催した。

ア. 第1回 (2025年12月17日)

「経済安全保障」をテーマに勉強会を開催し、企業が保有する技術やノウハウの流出リスクへの対策について、具体的な事例を交えながら知識を得ると共に、経済安全保障における技術流出対策の重要性について理解を深める貴重な機会となった。

テーマ：経済安全保障 ～技術流出対策を中心に～

講師：松本じゅん 殿 経済産業省 近畿経済産業局 国際部 通商課長

イ. 第2回 (2026年3月18日)

「独禁法と取適法」をテーマに勉強会を開催し、違反事例を中心に（独禁法は価格カルテル等、取適法は金型の無償保管等）、法律の基本的な考え方のみならず、運用基準等の解釈などを含め、留意すべき内容や違反行為を未然に防止するための対策などについて理解を深める貴重な機会となった。

テーマ：独占禁止法の違反事例（不当な取引制限等）を踏まえた留意点とその対策について

講師：塩 友樹 殿 公正取引委員会 近畿中国四国事務所 総務管理官

テーマ：取引適正化・価格転嫁の実現に向けた取組について

講師：平田 省司 殿 経済産業省 近畿経済産業局 産業部
取引適正化推進室長

V 共通基盤事業関係

1. 決議及び提言の取りまとめ

次の政策提言を関係省庁等に対して提出した。

- (1) 決議（定時総会2025年5月）
- (2) 関西大会政策提言〔関西大会（第611回理事会、第123回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）2025年11月〕

2. 統計調査の実施と統計情報の提供

次の項目について、月次調査及び集計を行った。集計結果は、理事会での報告と会員への提供を行うと共に、関係省庁、関連団体、報道機関等に配布した。また、暦年・年度及び需要部門毎の資料整備と分析を行い、当工業会の基礎的統計資料の整備に努めた。

- (1) 産業機械受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (2) 産業機械輸出契約状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・地域別集計）
- (3) 環境装置受注状況
（自主統計、月次・年度上期・暦年・年度末毎、機種別・需要部門別集計）
- (4) 産業機械輸出入実績
（財務省貿易統計ベース、月次毎、機種別・需要部門別集計）
- (5) 2026年度産業機械の受注見通し（2026年3月27日公表）

3. 適正取引の推進に向けた行動計画に関する取組

- (1) フォローアップ調査の実施
中小企業庁が定める業種横断的な「フォローアップ指針」を踏まえ、『「未来志向型の取

引慣行に向けて」に係る自主行動計画のフォローアップ指針における調査』を2025年11月に行った。調査結果は2025年11月に中小企業庁へ報告すると共に、会員各社と情報共有を図った。

(2) 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の改定

経済産業省からの要請を受け、当工業会の行動計画を2026年1月1日に改定した。

4. 優秀環境装置表彰等表彰事業の実施

環境装置メーカー等が開発した優秀な装置の普及と技術開発の促進を目的に、1974年度から通商産業省（現経済産業省）の後援のもと、優秀環境装置の表彰事業を実施している。賞の種類は、経済産業大臣賞、経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞、資源エネルギー庁長官賞、中小企業庁長官賞、一般社団法人日本産業機械工業会会長賞であり、その他受賞装置の開発に携わった主たる開発者に対し、当工業会会長より表彰を行っている。

2025年度（第51回）は、全国から8件の応募があり、これら装置について独創性、性能、経済性、将来性等の項目に関し書面審査、実地調査等の厳正なる審査を行い、次のとおり優秀と評価された6件の環境装置について、2026年3月25日に表彰式を行った。

また、経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞、資源エネルギー庁長官賞、中小企業庁長官賞を受賞した装置の研究・開発に携った主たる開発者について、計8名を一般社団法人日本産業機械工業会会長が表彰した。

さらに、表彰式に併せ、受賞装置発表会及び祝賀パーティーを行った。

(1) 経済産業省脱炭素成長型経済構造移行推進審議官賞

装置名：高精度自動供給装置付集中脱油システム(エコロアース)

受賞者：株式会社そうぎょう

(2) 資源エネルギー庁長官賞

装置名：省エネ型ヒートポンプ式アンモニア回収装置

受賞者：木村化工機株式会社

(3) 中小企業庁長官賞

装置名：排水処理機（マジカル・ベコップMB-03TS）

受賞者：株式会社オクト

(4) 日本産業機械工業会会長賞（応募申請書受付順）

装置名：消臭・油煙・粉塵除去装置（エアークリーンシステムCLCC型）

受賞者：株式会社クリエ

装置名：廃油蒸気ボイラー（NBHボイラーシリーズ）

受賞者：株式会社日本汽罐

装置名：エマルション分離装置（EBS：エマルションブレイクシステム）

受賞者：中部電力ミライズ株式会社（共同申請）

関西オートメ機器株式会社（共同申請）

5. 中小企業等経営強化法における経営力向上設備等に関する税制措置への対応

中小企業等経営強化法における経営力向上設備等に関する税制措置について、設備メーカー（製造事業者等）からの申請に基づき、生産性向上に係る該当要件を確認し、「証明書」を発行した。

6. 中小企業省力化投資補助事業における製品登録への対応

中小企業省力化投資補助事業における製品登録について、設備メーカーからの申請に基づき、省力化基準を満たすか否かの審査を行い、審査結果を『補助金事務局』に提出し、承認を受けたものに対し、証明書を発行した。

7. 月刊機関誌「産業機械」の発行と関連情報の提供

(1) 月刊機関誌「産業機械」の発行

2025年は「いのち輝く未来社会の産業機械～人と社会の共存をめざして～」を、2026年は「次世代へつなぐ産業機械～継承と創造～」を年間テーマに掲げ、会員各社の新製品・新技術の紹介を中心に、各種統計資料、当工業会の情報を編集し、発行した。

なお、特集号及び紹介号は次のとおりである。

2025年 4月号 (No. 894) プラスチック機械

2025年 5月号 (No. 895) 優秀環境装置

2025年 6月号 (No. 896) ボイラ

2025年 7月号 (No. 897) 大阪・関西万博

2025年 8月号 (No. 898) 風水力機械①

2025年 9月号 (No. 899) 風水力機械②

2025年 10月号 (No. 900) 優秀環境装置

2025年 11月号 (No. 901) 化学機械・タンク

2025年 12月号 (No. 902) 業務用洗濯機

年間テーマを振り返って

- 2026 年 1 月号 (No. 903) 経済産業省 製造産業局長、会長、支部長、委員長、
部会長年頭所感
- 2026 年 2 月号 (No. 904) 鋳山機械・製鉄機械
- 2026 年 3 月号 (No. 905) 運搬機械・動力伝導装置

(2) ウェブサイトの運営及び掲載内容の検討

会員の紹介、当工業会活動内容及び各種事業の開示を目的に、ウェブサイト
(<https://www.jsim.or.jp/>) の管理・運営を行った。

VI 共通基盤活動関係

1. 総会、理事会、正副会長会議等会議の運営

(1) 定時総会

2025年5月22日、The Okura TOKYOにおいて開催し、次の議案をいずれも満場一致をもって原案のとおり承認した。

- ア. 2024年度事業報告承認の件
- イ. 2024年度決算報告承認の件
- ウ. 2025年度事業計画決定の件
- エ. 2025年度収支予算決定の件
- オ. 決議の件
- カ. 役員補充選任の件

(2) 定時総会 特別講演会

2025年5月22日の定時総会において、次の講演を行った。

テーマ：トランプ政権下での日米経済関係

講師：班 太郎 殿 在アメリカ合衆国日本国大使館 一等書記官

(3) 臨時総会

2026年3月25日、機械振興会館において開催し、理事補充選任の件を議案として付議し、満場一致をもって原案のとおり承認した。

(4) 理事会

2025年度に次の通り10回開催し、各議案について審議を行った。

ア. 理事会（書面審議）（2025年4月23日）

- a. 2024年度事業報告（案）及び2024年度決算報告（案）
- b. 2025年度収支予算修正
- c. 決議（案）
- d. 常任幹事・幹事補充選任
- e. 新入会員
- f. 2025年度産業機械工業功績者表彰候補者
- g. 2025年度定時総会の招集

イ. 第610回理事会（2025年5月22日）

- a. 副会長、関西支部長補充選任
- b. 新入会員
- c. 2024年度下期工業会活動状況

- ウ. 理事会（書面審議）（2025年6月30日）
 - a. 幹事補充選任
 - b. 新入会員
- エ. 理事会（書面審議）（2025年8月8日）
 - a. 幹事補充選任
- オ. 理事会（書面審議）（2025年9月30日）
 - a. 新入会員
 - b. 令和8年度税制改正要望（案）
- カ. 理事会（書面審議）（2025年10月30日）
 - a. 幹事補充選任
- キ. 第611回理事会（2025年11月20日）
 - a. 常任幹事補充選任
 - b. 関西大会・政策提言（案）
 - c. 新入会員
 - d. 2025年度上期工業会活動状況
- ク. 理事会（書面審議）（2025年12月25日）
 - a. 新入会員
 - b. 「協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画」の改定
- ケ. 理事会（書面審議）（2026年2月27日）
 - a. 幹事補充選任
 - b. 新入会員
 - c. 2025年度臨時総会の招集
- コ. 理事会（書面審議）（2026年3月30日）
 - a. 新入会員
 - b. 常任幹事補充選任
 - c. 2026年度事業計画（案）
 - d. 2026年度収支予算（案）
 - e. 副会長の補充選任

（5）運営幹事会

2025年度に次のとおり9回開催し、毎月の産業機械受注状況、輸出契約状況、環境装置受注状況、海外情報、当工業会の活動状況等について報告を行った。

- ア. 第118回運営幹事会（2025年4月23日）
 - a. 講演
 - テーマ：米国の関税措置等
 - 講師：内野 雅彦 殿 経済産業省 通商政策局 米州課 課長補佐
 - b. 常任幹事・幹事の選出
 - c. 委員長・部会長の選出
 - d. 新入会員
 - e. 2024年度事業報告（案）

- f. 2024 年度決算報告（案）
- g. 決議（案）
- h. 2025 年度産業機械工業功績者表彰候補者（案）
- イ. 第 119 回運営幹事会（2025 年 6 月 24 日）
 - a. 講演
 - テーマ：中国経済の現状
 - 講師：國藤 貴之 殿 経済産業省 通商政策局 北東アジア課 課長補佐
 - b. 常任幹事・幹事の選出
 - c. 委員長・部会長の選出
 - d. 新入会員
- ウ. 第 120 回運営幹事会（2025 年 7 月 30 日）
 - a. 講演
 - テーマ：新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2025 年改訂版
 - 講師：貴田 仁郎 殿 内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 参事官
 - b. 幹事補充選任
 - c. 委員長・部会長の選出
- エ. 第 121 回運営幹事会（2025 年 9 月 25 日）
 - a. 講演
 - テーマ：関東経済産業局における地域経済政策
 - 講師：志村 典彦 殿 経済産業省 関東経済産業局 産業部 次長
 - b. 新入会員
 - c. 令和 8 年度税制改正要望（案）
 - d. 2025 年度海外貿易会議
- オ. 第 122 回運営幹事会（2025 年 10 月 22 日）
 - a. 講演
 - テーマ：第 1 次国土強靱化実施中期計画
 - 講師：村山 直康 殿 内閣官房 国土強靱化推進室 参事官
 - b. 幹事の補充選任
 - c. 委員長の選出
- カ. 関西大会（第 123 回運営幹事会及び関西地区会員との合同会議）

(2025 年 11 月 20 日)

 - a. 常任幹事補充選任
 - b. 新入会員
 - c. 関西大会・政策提言（案）
 - d. 講演
 - テーマ：近畿経済の概要と今後
 - 講師：信谷 和重 殿 経済産業省 近畿経済産業局長
- キ. 第 124 回運営幹事会（2025 年 12 月 19 日）
 - a. 講演

テーマ：再生可能エネルギー等を取り巻く最近の動向

講師：那須 良 殿 経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部 政策課 課長

- b. 新入会員
- c. 「環境活動基本計画」目標達成に向けて フォローアップ調査 実績報告
- d. 協力企業との適正取引の推進に向けた行動計画（案）

ク. 第 125 回運営幹事会（2026 年 2 月 24 日）

- a. 講演
テーマ：中国の政治・経済情勢と日本への影響
講師：近藤 大介 殿 株式会社講談社 特別編集委員・明治大学 講師
- b. 幹事補充選任
- c. 新入会員
- d. 日本貿易保険（NEXI）事業説明

ケ. 第 126 回運営幹事会（2026 年 3 月 25 日）

- a. 講演
テーマ：我が国を取り巻く状況とサプライチェーン強靱化について
講師：高木 美香 殿 経済産業省 製造産業局 参事官
- b. 新入会員
- c. 2026 年度産業機械の受注見通し（案）
- d. 2026 年度事業計画（案）
- e. 2026 年度収支予算（案）

（6）会長、副会長会議

当工業会の運営及び事業活動の円滑化を図るための基本的事項について協議を行うため、2026 年 3 月 10 日に開催し、産業機械業界の景気動向、2026 年度事業計画案、同収支予算案、その他当面の諸問題について協議、懇談を行った。

（5）会長、委員長、部会長会議

2025 年 12 月 19 日に開催し、各委員長、部会長から委員会、部会活動状況等の報告と共に、当面の課題について懇談を行った。

（7）監事監査

2024 年度の事業報告及び決算報告について、2025 年 4 月 21 日に井上監事（株式会社井上製作所）、竹中監事（一般財団法人日本品質保証機構）、辻本監事（株式会社鶴見製作所）によって監査が行われた。

2. 新年賀詞交歓会等会員相互等の交流機会の提供

（1）定時総会パーティ

The Okura TOKYOにおいて、2025年5月22日に定時総会、産業機械工業功績者表彰式の終了後に開催した。

(2) 新年賀詞交歓会

The Okura TOKYOにおいて2026年1月8日に開催した。来賓を代表され、経済産業省製造産業局長 伊吹英明殿から挨拶があり、参加者一同新年の賀詞を交歓した。

3. 2025年度産業機械工業功績者の表彰

2025年5月22日の定時総会において、次のとおり表彰した（表彰順）。

竹口 英樹 殿	株式会社タクマ	環境装置部会
内山 毅 殿	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	風水力機械部会
青山 匡志 殿	株式会社電業社機械製作所	風水力機械部会
荒木 達朗 殿	住友重機械工業株式会社	動力伝導装置部会
巻幡 俊文 殿	カナデビア株式会社	関西支部 労務委員会

4. 団体生産物賠償責任保険（PL保険）の提供

2025年度国内・海外生産物賠償責任保険（PL保険）の募集を実施し、円滑な運営に努めると共に、2025年度の募集に向け、保険制度の確認等を行った。

5. 産業機械テニス大会等の福利厚生事業

(1) 第66回産業機械テニス大会

会員各社従業員の厚生事業の一環として、1960（昭和35）年から毎年開催しており、日刊工業新聞、産業経済新聞社の後援のもと、2025年11月1日に三菱重工業株式会社桜ヶ丘コート（東京都大田区）において開催した。なお、参加チームは7チームであった。

優 勝：三菱重工業株式会社

準優勝：オルガノ株式会社

第3位：株式会社クボタ

(2) 2025年度会長杯ゴルフ大会

会員の親睦をより一層深めることを目的として毎年2回会長杯ゴルフ大会を開催している。2025年度の優勝者は次のとおりであった。

ア. 第1回 2025年5月23日 小金井カントリー倶楽部

- 優勝：菊本一高 殿 株式会社栗本鐵工所
イ. 第2回 2025年11月21日 六甲国際ゴルフ倶楽部
優勝：木立卓生 殿 新東工業株式会社

6. 勉強会・講演会・セミナーの開催

(1) 水素・アンモニア社会実現のための勉強会

ア. 第2回 2025年8月26日

経済産業省 近畿経済産業局と共催により、「グランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）」において開催し、関西における水素・アンモニア関連ビジネスの最新動向や商用サプライチェーンの全体像、今後のビジネス展望等について、理解を深めた。

①特別講演

テーマ：大阪泉北地域に向けたクリーン水素・クリーンアンモニアサプライチェーンの構築について

講師：毛受 義博 殿 株式会社IHI アンモニアバリューチェーン
プロジェクト部 国内バリューチェーングループ主幹

講師：佐藤 俊亮 殿 関西電力株式会社 水素事業戦略室
事業開発グループチーフマネジャー

講師：中川 和也 殿 三井化学株式会社 グリーンケミカル事業推進室
生産技術統括

講師：松原 明弘 殿 三井物産株式会社 メタノール・アンモニア事業部
クリーンアンモニア事業開発室 次長

講師：板村 彩音 殿 三井物産株式会社 メタノール・アンモニア事業部
クリーンアンモニア事業開発室

②講演1

テーマ：水素ステーション向け0リングの開発とこれからの展望について

講師：高石 秀之 殿 高石工業株式会社 代表取締役

③講演2

テーマ：FUKUI 安全弁でCN社会を支える「10年後のマーケットリーダー」を目指し

講師：川勝 玲央 殿 株式会社福井製作所 グローバル・マーケティング
グループ

イ. 第3回 2025年10月26日

電力中央研究所における水素に関する最新の研究動向や技術的取り組み、社会実装に向けた課題と展望について紹介があった。GX 推進における水素の可能性について理解を深める貴重な機会となった。

テーマ：GX 実現に向けた水素の役割と将来展望

講師：市川 和芳 殿 一般財団法人電力中央研究所 DX 研究本部
研究統括室 副統括室長

ウ. 第4回 2025年12月23日

川崎重工業株式会社が開発を進める水素液化プラント向けの遠心式水素圧縮機について説明を受けた。

世界初の取り組みにおける技術的課題の克服プロセスや今後の展開など、開発の最前線の知見を深めた。

テーマ：川崎重工業株式会社における遠心式水素圧縮機の開発

講師：倉敷 豊 殿 川崎重工業株式会社

エネルギーソリューション&マリンカンパニー

エネルギーディビジョン 熱サイクル総括部

空力機械部 技術開発課

エ. 第5回 2026年2月13日

「関西電力株式会社 姫路第二発電所」及び「株式会社神戸製鋼所 高砂製作所」を訪問し、水素混焼発電実証設備及び水素供給実証設備を視察すると共に、実証事業の進捗状況や実装に向けた課題等について意見交換を行った。

(2) CCBAM (炭素国境調整メカニズム) 講演会

2025年9月29日にCBAMに関する講演会を開催した。EU向け輸出を行う企業に限らず、サプライチェーン全体での対応を検討する上で非常に有意義な機会となった。特に、制度の具体的な運用方法や報告義務に関する実務的な解説は、参加企業の理解促進に大きく寄与した。

講師：濱田 未央 殿 PwC 関税貿易アドバイザー合同会社

関税・貿易部 シニアマネージャー

(3) 製造DXセミナー

2025年12月12日に「DXの誤解と成功要因 ～DX=Dを超えて～」をテーマに講演会を開催した

今後の製造業の成功は「人×AI」の協働モデルにあるとの講演があった。AIを「強力な新人」としてマネジメントし、現場リーダーが使いこなすことで、創造的な現場を生み出すと指摘。DX成功の王道は、現場の悩みからスモールスタートで本番運用を始め、走りながら改善することであり、変革にはトップの「覚悟=自己否定」が不可欠であると強調された。

講師：林 英俊 殿 一般社団法人製造DX協会 代表理事

株式会社エスマット 代表取締役 CEO

(4) 人材関連勉強会

ア. 第1回 2026年10月24日

テーマ：高卒採用を成功させるためには

講師：近藤 海里 殿 株式会社ジンジブ Rコンサルティング部 部長

イ. 第2回 2026年3月12日

講師：三瀬 智之 殿 株式会社ワールドインテック

コーポレート営業推進部 副部長
講師：板谷 耕平 殿 株式会社ワールドインテック
コーポレート技術営業部 部長

(5) 貿易保険の最新動向と包括保険スキーム活用セミナー

2026年3月26日にセミナーを開催し、貿易保険制度の概要や地政学リスクの高まり、直近のカントリーリスクを中心とした保険金支払事例について説明が行われた。

併せて、日本貿易保険（NEXI）及び日本機械輸出組合の包括保険スキームの内容と、組合包括保険を活用するメリットについて紹介した。

講師：三宅 史朗 殿 株式会社日本貿易保険 輸出保険部
シニアマネージャー

講師：柴岡 達也 殿 日本機械輸出組合 輸出信用グループ
グループリーダー

一般社団法人 日本産業機械工業会

本 部 東京都港区芝公園3丁目5番8号
〒105-0011 (機械振興会館4階)

電 話 東京 (03) 3434-6821 番 (代)

F A X 東京 (03) 3434-4767 番

関西支部 大阪府大阪市北区西天満2丁目6番8号
〒530-0047 (堂ビル2階)

電 話 大阪 (06) 6363-2080 番 (代)

F A X 大阪 (06) 6363-3086 番
